

# 認知症ケア

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：演習

単 位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：最新の論拠に基づいてアルツハイマー病やその他の認知症の発現過程と疾患について理解し、その援助方法について学ぶ。さらに、認知症を持つ高齢者の日常生活・社会生活への適応を支援する看護方法、および介護を担う家族を支援する方法について学ぶ。

- 到達目標**：
1. 認知症と現代社会の課題について説明できる。
  2. 認知症（アルツハイマー病を含む）の定義と臨床的特徴を説明できる。
  3. 認知症の人が治療を受けるときの看護について説明できる。
  4. 認知症の人のQOLを高める環境整備や栄養のケアについて説明できる。
  5. 認知症の人に対するコミュニケーションについて説明できる。
  6. 認知症の人の症状アセスメントとケアの基本について説明できる。
  7. 認知症の人の人権擁護とケアにおける倫理的課題を説明できる。
  8. 認知症の人が地域で暮らすための取組と課題について説明できる。
  9. 認知症の人の家族やケア提供者が直面している課題を説明できる。
  10. 認知症の人に関する看護課題についてGeriatric Nursing及び医学中央雑誌刊行会が提供するデータベースなどをを用いて検索し、考察できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎村松 真澄・原井 美佳

■**授業計画・内容**：

- 第1回 認知症とはなにか、現代社会における認知症、歴史（村松）  
第2回 認知症の病態と定義・治療（村松）  
第3回 認知症の人が治療を受けるときの看護（村松）  
第4回 認知症の人のQOLを高める環境整備および栄養（村松）  
第5回 認知症の人の症状のアセスメントとケアの基本（原井）  
第6回 認知症の人の人権擁護とケアにおける倫理的課題（原井）  
第7回 地域で認知症の人が安心して暮らすことができる地域包括ケア（村松）  
第8回 グループワーク（原井・村松）  
第9回 グループワーク（原井・村松）  
第10回 認知症の人の家族、及びケア提供者の課題（原井）  
第11回 地域包括ケアの在り方提案：ワールドカフェ方式（村松）  
第12回 倫理的課題の事例検討：ワールドカフェ方式（原井）  
第13回 認知症の人とのコミュニケーション（原井）  
第14回 認知症の人とのコミュニケーション：SPさんとの演習（原井）  
第15回 認知症ケアの今後の課題（村松）  
授業の順番変更や調整の可能性がある。

■**教科書**：新版 認知症の人びとの看護 3版 中島紀恵子著、編集 医歯薬出版

■**参考文献**：認知症と診断されたあなたへ 小澤 勲／黒川 由紀子編 医学書院  
私の脳で起こったこと レビー小体型認知症からの復活 樋口直美 ブックマン  
ぼくが前を向いて歩く理由：事件、ピック病を超えて、いまを生きる 中村成信 中央法規出版  
認知症になった私が伝えたいこと 佐藤雅彦 大月書店

■**成績評価基準と方法**：総合的に評価する。

評価方法	到達目標1	到達目標2	到達目標3	到達目標4	到達目標5	到達目標6	到達目標7	到達目標8	到達目標9	到達目標10	評価基準	評価割合 (%)
定期試験	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		60%
レポート										◎	レポート内容	10%
授業態度	○	○	○	○	○	○	○	○	○		取り組み姿勢	参考にする
模擬患者参加型授業					◎					◎	討論への参加、グループ活動への貢献・参加、模擬患者参加型授業	10%
グループワーク・ワールドカフェ							◎	◎		◎	討論への参加、グループ活動への貢献・参加 ワールドカフェの内容10×2	20%
出席状況											2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：認知症状やアルツハイマー病という疾患に焦点をおくのではなく、あくまでも認知症という疾患をもつ人を理解し、よりよい看護を探求するという姿勢で授業に臨んで下さい。